



コベルコクレーン

- 2012年度は、インド・中国で本格生産開始
日本発世界向けは、全モデルを一新
- 国内は、震災復興需要が本格化

2011年度の概況

クローラクレーンの販売台数が、北米、東南アジアを中心として海外販売が伸び、震災からの復旧で国内需要も増加しました。

これにより前年度を上回る売上高となり、経常利益も黒字を確保しました。

この結果、2011年度の売上高は2010年度比17.2%増の480億円となり、経常利益は、黒字に好転し1.6億円の利益となりました。

Topics

■新モデルを海外、国内の全地域で発売

最新排出ガス規制をクリアした新モデル、北米モデル「CK-Gシリーズ」、欧州モデル「CKE-Gシリーズ」に続き、その他地域向け「CKSシリーズ」、国内向け「Mastertech-Gシリーズ」を上市し全地域向けのモデルを一新しました。

また各地域向けの基礎土木対応クローラクレーンも同時に発売しています。新モデルは、環境・安全への配慮、稼働率の向上、省エネなどの客先のニーズに合わせたアップグレードを図っており、高い評価をいただいています。



■インド:クローラクレーン新工場での生産開始

インドの子会社であるコベルコクレーンインディアは、2011年12月より操業を開始し、2012年2月に、新工場の開所式を行いました。

100トンから260トンクラスの生産を行い、最終的には年間100台レベルでの生産を目指しています。

インドは、旺盛な需要が見込まれており、中国と並ぶ一大需要地での現地生産による客先対応を進めていきます。



■中国工場でのクローラクレーンの生産開始

コベルコクレーン(株)と中国側パートナーと共同で設立した成都神鋼起重機有限公司は、2012年3月に新工場の竣工式を行い、工場生産を開始しました。

中国の新工場では、260トンのクローラクレーンから生産を始めており最終的には年間80台レベルの生産を計画しています。

中国は世界最大のクローラクレーンの市場であり、現地ニーズに合った製品の提供で、需要取りこみを図っていきます。

